

令和元年台風19号被害への対応状況等について（12月13日12:00現在）

台風19号で被害を受けた各地で情報共有会議が開催されています。福島県いわき市、栃木県宇都宮市、宮城県丸森町では、市町域の情報共有会議も行われ、JVOADスタッフも各地の会議に参加し、そこで共有された課題解決に向けて、行政、社会福祉協議会、NPO等と連携して解決に向けた調整等を行っています。本日12:00時点で把握した状況についてご報告します。

○被害状況（12月12日15時現在 総務省消防庁資料）

<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/taihuu19gou63.pdf>

人的被害：死者99名（うち災害関連死2名）、行方不明者3名、重傷者40名、軽傷者444名

住家被害：全壊3,081棟、半壊24,998棟、一部損壊26,284棟、床上浸水12,817棟、床下浸水24,472棟

*10月25日の大雨による被害も含む

*今後の罹災証明書発行に伴い、数字は変動する見込みです

○情報共有会議の開催

JVOADのホームページでも各地の情報共有会議の開催予定一覧を定期的に更新しています。市町域での会議も開催されてきており、より被災地に沿った支援に向けての連携が行われてきています。

復旧・復興の状況に合わせて、会議の実施回数や体制など見直しを行っている地域もあります。

○現地の状況

①東北方面（宮城県・福島県）

- ・宮城県では、大郷町と丸森町で建設型の仮設住宅が設置、今週、来週で鍵の引き渡しが行われるため、年末にかけて引っ越しの支援も行っていく
- ・宮城県丸森町では、台所、トイレ、お風呂、洗濯ができない状況で在宅避難をされている方もいる、今後、在宅避難の状況など調査も検討している
- ・いわき市では、自力で集積所に災害ゴミを持ち込めない方を対象に、行政の方で12/2～12/20に戸別回収を行っている、自宅の外にごみを出せない人には災害ボランティアセンターで対応している

②北関東（栃木県・茨城県）

- ・栃木県では、民間主体の「暮らし復興支援センター」が設置され、行政や社協とも連携しながら支援を行っている、コーディネーションできる人が必要
- ・12/15、茨城県常陸大宮市で、協働型サロン「ぬくもりを届けるプロジェクト」を開催予定
炊き出し、足湯、相談会などを予定しており、地元団体や学生など30名ほどの支援者が参加予定

③長野県

- ・農ボラの募集は、12月15日で終了予定
- ・12/18（水）18:30～20:45で、長野県災害時支援ネットワーク主催で「ONE NAGANO 災害復興応援会議～復興に向けて想いをひとつに～」が開催、被災者、支援者によるリレートークや参加者によるディスカッションが予定されている

④千葉県

- ・地元NPOを中心に「千葉南部災害支援センター」が設置され、社会福祉協議会や技術系支援団体と連携しながら長期的にブルーシートの張り直しや倒木などの依頼に対応していくため、引き続き、講習会の開催に向けた調整をJVOADもサポートしながら行っている

○災害ボランティアセンター

複数の市町村で、引き続きボランティアセンターが開設

開設状況については、全国社会福祉協議会 被災地支援・ボランティア情報を確認ください

* 年末年始の予定なども確認できます

URL : <https://www.saigaivc.com/>

○今後について

各地の復興状況にも差があり、今後求められる支援も異なってきています。仮設住宅やみなし仮設等への移動も進んできてはいますが、今も避難所にいる方もいます。台所が使えない、洗濯ができないという状況で在宅避難している方もいます。生活再建やコミュニティ支援に向けて、引き続き、地元関係団体と連携し、情報共有会議であがった課題等について、行政、社会福祉協議会、NPO/NGO、企業など多様なセクターと支援調整を行ってまいります。